

令和7年度予算

公明党の主張 こだわりポイント

令和7年度当初予算、令和7年1月補正予算に盛り込まれた、公明党長野県議団提案の主な事業のご紹介

物価高への対応

●住民税(所得割)非課税世帯へ2万円給付

わずかな収入の差で、国で行う住民税非課税世帯への給付金の対象にならない世帯に支援。市町村を通じて給付されます。



●LPガス料金の支援

昨年8～10月、今年1～3月に1,000円以上利用された世帯に支援。利用料金から自動で差し引かれますので、**申請は不要**です。

●省エネ家電購入への支援

省エネ性能の高いテレビやエアコン、冷蔵庫、電気温水器などを購入すると、キャッシュレスポイントの形で支援。



購入期間が**今年8月まで延長**されました。

●学校給食費の負担軽減

食材価格の高騰による保護者負担を軽減するため、県立学校・私立小中学校の**学校給食費等の値上げ相当額を支援**します。



現場からの切実なお声や若者の皆様からのアンケートなどを通じた知事への要望、議会質問などにより、政策が前に進みました。



災害から命や暮らしを守る(防災・減災)

●住宅耐震改修費への補助

住宅の耐震化を一層促進するため、市町村と協調して、**住宅の耐震改修への補助を拡充**します。



●トイレトレーラーの整備

民間事業者によるトイレトレーラーなどの整備に補助を行い、災害が発生した時に**快適なトイレ環境を被災者に速やかに提供する体制を整備**します。

●特別支援学校体育館の空調整備

災害時に福祉避難所になる特別支援学校の体育館。適切な空調設備の設置方法や効果的な断熱改修方法を検討するための調査を行います。

若者が自分らしく暮らせる社会(若者政策)

●ユースセンター設置への支援

地域ごとのユースセンター(高校生の居場所など)の設置事業を「地域発元気づくり支援金」の令和7年度「重点支援対象事業」に指定し、**補助率をかさ上げして支援**します。



●子ども・若者総合相談センターの拡充

ニート、ひきこもりや不登校等、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者が本人のニーズに応じて社会的自立に向けた支援を受けられる若者総合相談センターで、メタバース相談を含むオンライン相談や出張居場所を新たに実施します。

県内事業調査(諏訪地域)

1月14日

公明党県議団では、県内各地域の事業や課題をお聞きしています。今回は、諏訪地域の調査に伺いました。



産業の発展と観光振興を(諏訪湖スマートIC整備状況調査)

今年夏に供用開始を目指す諏訪湖スマートインターチェンジの整備状況を視察。諏訪地域の産業の発展と観光振興を進めていきたいと思っています。

豊かな水環境を子どもたちに!

(諏訪湖環境研究センター視察)

生態系を回復するため活動する諏訪湖環境研究センター。子どもたちが水環境を学ぶ場所として、積極的な施設の活用も重要だと感じました。



県外視察

1月22日

業務の切り出しで、人手不足解消と多様な働き方を調査

(株式会社タイミー本社)

公明党の提案を受けて、令和6年度は短時間勤務のモデル事業が行われていますが、企業と働き手のマッチングサービスを提供する株式会社タイミーを再度調査。復職支援やニーズに合った新しい働き方の提案で、子育て中の女性やシニア層の活躍も期待できます。



賃上げ実現に向けての調査(埼玉県の価格転嫁の円滑化支援)

サポーター認証制度とともに「価格交渉支援ツール」や「収支計画シミュレーター」の効果的な活用、「交渉の成功事例集」など、たくさんのヒントをいただきました。**2月議会でも提案し、長野県でも成功事例集が作成されることになりました。**



令和7年度の委員会構成が決まりました

- 総務企画警察委員会 副委員長 加藤康治
- 県民文化健康福祉委員会 勝山秀夫
- 産業観光企業委員会 川上信彦
- 危機管理建設委員会 清水純子

- 環境文教委員会 勝野智行
- 議会運営委員会 加藤康治
- 決算特別委員会 勝野智行

公明党長野県議団の情報



ホームページ



X
(旧ツイッター)



清水じゅんこ

長野県議会だより

2025
春号

皆さんのお声を県政に届けます ～定例議会 一般質問から～

上小医療圏における救急医療体制の充実について

医師偏在指数が県内で最も低い上小医療圏の課題解決に向けた県の支援について質問しました。

医師偏在が続く中で、医師の高齢化や働き方改革が加わり、夜間休日にも患者を受け入れる病院群輪番制において当番病院が決まらず、空白日が生じる等、当医療圏の医療体制の維持は大変厳しい状況にあります。

Q1 満床によって救急搬送患者を受けられない状態を解消するため、信州医療センターと依田窪病院との間で「診療連携協定」を締結したが、効果はいかがか。また、協定を広げることが、有効と思われるがいかがか。

A1 信州上田医療センター「救急止め」の状況は、令和5年度は月平均76時間から、協定後5か月間平均で月28時間に減少した。協定を広げることが重要と考えている。

Q2 下り搬送に関する協定と中核病院へ医師等を派遣し救急医療体制を維持する「上田スタイル」の取組に県として財政支援を検討頂きたいがいかがか。

A2 地域住民への転院理解への普及啓発、医療機器整備に対する支援や急性期経過後の患者の受入機能強化を図る病院に対する支援など必要な支援について取組んでいく。

上田養護学校の学びの環境整備について

昨年11月議会での質問に加え、その後の検討状況を質問しました。

Q3 昨年の質問で教育長から「教室不足、施設の老朽化、安全性の観点から移転も含めてできるだけ早く検討に着手する」との答弁があったが、その後の状況はいかがか。

A3 現在の施設の状況や今後の児童生徒の見込み数、改築する場合の規模や内容など検討を進めている。また、移転の可能性について、通学の利便性や敷地の考え方、活用可能な施設・土地の情報等について上田市と情報交換し、現地立替と移転の両面から課題の整理を行っている。

Q4 上田養護学校は、千曲川浸水想定区域内に位置し、災害時の安全面で不安の声が上がっている。早い時期に関係者との課題共有や今後の在り方の確認も含めた検討会の設置が必要と考えるがいかがか。

A4 検討会の設置は必要と考えており、頂いたご意見も含め、今後のあるべき姿を具体化していきたい。

一般質問の内容は右記のQRコードより
視聴できます。ぜひ、ご覧ください。



総務企画警察委員会審議

長野県警公式アプリ「ライポリス」リリース

1. 身近なエリアの事件・事故情報を表示「お知らせ通知」
2. 位置情報が家族などに届く「ここ通知」
3. 画面と音で警告できる「防犯ブザー」熊鈴も搭載！

ぜひ、登録してみてください▶



マイナンバーカードを運転免許証として利用できるようになりました。選べる3タイプ

免許証のみ・マイナ免許証のみ・両方持ち

メリット1 氏名・住所等の変更が市町村へ届ければ完了
免許センターでの手続き不要

メリット2 免許更新時の講習が24時間好きな時に
オンラインで受けられます

メリット3 更新手数料が安くなります

詳しくはこちら▶



ドライバー人材確保について現状と今後の計画

Q 地域就労支援センター「運輸業界」専門窓口の実績は？

A 令和6年1月時点で、57名の相談、そのうち3名が就労に着いた

Q 県外からの移住ドライバーに移住経費を助成している事業実績と今後の目標は？

A 令和6年度現在で4名、令和7年度は20名分の予算を確保している

Q 路線バスの維持のためにはドライバーの確保が欠かせない。そのための賃上げの原資を確保するための県の支援は？

A 長野県地域公共交通計画に伴い、必要な路線に対して大幅な支援の検討を行なっていく

主な活動の報告

長野県と沖縄県の交流連携

昨年、両県は包括的な交流連携協定を結び、さらなる交流連携にむけて、沖縄県を訪問しました。両県知事の懇談、経済関係者による交流、県議会観光・スポーツ振興議連懇談などから、「青年交流」「議会交流」も提案されました。「山の長野県」と「海の沖縄県」がそれぞれの強みを補完しながらより高めあう交流連携を深める機会になりました。



令和7年度の国予算を学ぶ

毎年恒例の次年度国予算のポイントを各省庁からご説明頂きました。

国の政策の方向性を確認しながら、長野県の様々な課題や業種ごとの意見交換でのお声を具体的に国に伝える大事な機会となっています。

賃上げや少子化等、待ったなしの課題における国の支援を十分に活用することが重要です。





長野県議会議員

2025年 春号

川上のぶひこ 県議会だより

2月定例会一般質問及び委員会質疑、その他活動を紹介します

一般質問の様子はこちらをご覧ください→



一般質問：1. 带状疱疹ワクチン接種について

川上質問

带状疱疹ワクチンの定期接種については、市町村ごとに個人負担額が異なることが予想される。県として市町村の状況をどのように把握しているのか。

健康福祉部長答弁

一部市町村から、住民にどこまで負担を求めるか頭を悩ませているとの声を聞いている。市町村の実施状況を確認し、県としてどのような支援ができるか検討する。



川上質問

今回、定期接種の対象者が65歳となったが、県ではその理由をどのように捉えているのか。

健康福祉部長答弁

70歳頃にピークを迎えることから、ワクチン効果が発揮できる65歳での定期接種は妥当であると考えている。

川上質問

4月からの带状疱疹ワクチン定期接種化を控え、予防と早期発見・治療を県民に分かりやすく伝えるために、県はどのように取り組むのか。

知事答弁

带状疱疹がどのような疾患でありどういう特長、症状等があるか、正確でわかりやすい情報の提供が必要だと考えている。市町村と連携して広報誌へ掲載したり、ホームページ、LINEなどの県公式アカウント等も活用し周知に取り組むと考えている。

2月定例会環境文教委員会質疑



教育委員会

1) 教員業務の削減・効率化について、2) 教職員の勤務時間について、3) 学校における自殺対策について質問。

環境部への質問

1) 信州エネルギーマネジメント支援事業について、2) 再生可能エネルギー普及総合支援事業について、3) 県有施設を活用したペロブスカイト太陽電池設置検討事業について、4) 河川・湖沼水質保全対策推進事業について、5) サーキュラーエコノミーへの移行について質問。

一般質問：2. 農福連携について

川上質問

農福連携の福祉の観点で、障がい者の他に高齢者、生活困窮者、ひきこもり状態にある者、犯罪歴のある者といった社会的に支援が必要な者にも対象を広げていくことの意義と、今後の取り組みについて伺う。

知事答弁

県としてはこうした困難を抱える方々を支援する関係機関とも連携をして、様々な支援制度の違いを乗り越えて居場所と出番を確保できるよう、農福連携の輪を広げる取り組みを検討していきたいと考えている。

今年の1月末に全都道府県で構成する「農福連携全都道府県ネットワーク」の会長に私が就任したので、このネットワークの活動を通じて全国的にも農福連携を進めていきたいと考えている。

飯田市・下伊那郡町村消防団出初式

1月5日阿南町からスタートし、1月13日飯田市まで、市町村の消防団出初式に参加。住民の生命と財産を守るため、日夜献身的に活動いただいている消防団員の皆さんに敬意を表します。下條村では、以前共に活動した歴代の団長の皆さんとお会いし、現在も消防委員としてご活躍いただいていることに感謝を申し上げました。



県立大学生との懇談会・青崩峠トンネル(仮称)工事完成式

12月18日

県立大学生と県議会議員との懇談会。テーマは、「2050年の自分について」。今から25年後、50歳になった自分が想像できない、将来のことより来年就職して働くことが不安など、率直な意見をお聞きしました。飯田下伊那から来ている方もいて、地元への熱い思いを聞くことができて心強く感じました。



3月2日

青崩峠トンネル(仮称)工事完成式が開催。三遠南信自動車道 青崩峠トンネル(仮称)は、長野県と静岡県境にあり、軟弱な地質で国内屈指の難工事と言われていました。

式典前に信州軍(飯田市南信濃)対遠州軍(浜松市水窪)による「峠の国盗り綱引き合戦」が行われ盛り上がりしました。供用が開始されれば現在40分かかっている峠越えの時間は7分に短縮されます。一日も早い完成を期待します。



【お気軽にご意見、ご要望をお聞かせください】

〒395-0152 飯田市育良町2丁目20-3 ☎0265-48-5258 FAX.026-403-2220 e-mail/kawakami.nobuhiko0728@gmail.com

加藤やすはる通信

県議会一般質問での質疑をご紹介します。

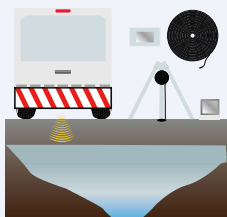
2月議会では防災・減災対策、物価高への対応について質問しました。

道路の路面下の空洞調査について

1月に埼玉県で発生した道路陥没事故を踏まえ、県が管理する道路の路面下の空洞調査を積極的に行うことが重要。県が行っている緊急輸送道路の路面下空洞調査の状況について伺う。

【建設部長答弁】

県では令和5年度から5年間で、路面下に占用物件が多く、万が一陥没が発生した際に影響の大きい県内の人口集中地区内の緊急輸送道路約130kmについて、地中の状態を確認できるレーダーを搭載した、専用車両による調査を実施しているが、**令和7年度から調査箇所を前倒しし、早期完了を図っていく。**



県の特別支援学校体育館への空調整備について

学校施設の避難所機能を強化し、災害に対する強さの向上を図る観点から、避難所となる全国の学校体育館等への空調整備を加速するため、昨年の国の補正予算で臨時特例交付金が新設された。災害時に福祉避難所となる県の特別支援学校体育館への空調整備を促進すべきと考えるが、取組の現状と今後の方向性について伺う。

【教育長答弁】

特別支援学校体育館の空調整備にあたり、最適な方法を検討する必要があると認識していることから、モデル校を選んで冷暖房の効果や費用対効果などを比較検証する調査を行い、その結果をもとに県立特別支援学校すべての体育館への施工方法などを検討する。特に、**体育館が福祉避難所に指定されている学校については早期の整備に努める。**

ガソリン価格への対応について

本県の物価高対策として、早急に取り組まなければならない課題の1つがガソリン価格への対応。県では今後、商工団体等の関係者とともに、ガソリン価格抑制等に向けた支援策の検討会を設置し、効果的な対策を検討することとしているが、スピード感を持って取り組むことが重要と考える。いつまでに具体的な方向性を決定し、実行していくのか伺う。



【知事答弁】

ガソリン価格については県としてもこれまで問題意識を持って取り組んできた。検討会の在り方や開催時期については現在の状況を踏まえ判断したいと思っているが、**議員からご指摘いただいたようにスピード感をもって取り組むことを基本に据えながら対応していきたい。**



丹波島橋の渋滞解消について

昨年1年間、危機管理建設委員会の委員として、長野市内の課題の1つである丹波島橋の渋滞解消について質問しました。質疑の模様をご紹介します。



来年度、交通シミュレーションに着手するということだが、実際に道路を走って実態を把握することも重要と考える。例えば、通勤時間帯に長野インターを5台同時に長野駅に向かって出発し、1台目は丹波島橋、2台目は長野大橋、3台目は五輪大橋、4台目は屋島橋、そして5台目は小市橋を渡るというように、**実測して現状を把握し渋滞解消策を探るという方法もあると考えるがいかがか。**

【道路建設課長答弁】

ご指摘のとおり、現状をしっかりと把握した上でシミュレーションをしていくことが重要だと思っている。今回のシミュレーションでは、現況の交通を再現した上で、将来どのような交通の流れになるかをシミュレーションするものである。今後、より**効果的な対策を実行の可能性も含めて検討**していく。

丹波島橋を渡る方にとっては、今日は橋を渡るのに何分かかるのか分からなくて、ストレスになっている方もいらっしゃる。そこで、**渋滞状況の見える化**という観点で、例えば川中島古戦場の辺りに、長野駅まで行くのに丹波島橋経由だと何分、長野大橋経由だと何分のような形で表示させると、車の通行の分散という観点で、渋滞に対しても効果的と考えるがいかがか。

【道路建設課長答弁】

ご提案いただいた道路利用者への情報提供については、丹波島橋の渋滞解消に関する**研究会の中で検討**していきたい。



(まとめ) 丹波島橋の渋滞解消は長年の課題です。長野市民の方から丹波島橋の渋滞を何とかしてほしいとお声をたくさんいただいています。県では令和7年度に2,000万円の予算を確保して交通シミュレーションを行います。ハード面、ソフト面、とにかくできることはすべて行うという思いで渋滞解消に取り組んでいただくよう、これからも粘り強く進めていきます。





かつの智行NEWS

一般質問



一般質問 配信映像

2月定例会

11月定例会



2月定例会より



「松本空港ターミナルビル」について

勝野
知事**松本空港ターミナルビル(株)の筆頭株主である県として、早急にビルの課題に手を付けるべきではないか!**

ターミナルビルの修繕は、原則ビル会社が行っているが、令和7年度に実施する空港の機能強化に向けた調査を踏まえ、できるだけ早期にビルの抜本的改修ができるよう、県としてビル会社に必要な支援を行っていきたい。



「交通事故防止」について

勝野
警察本部長**視覚障がい者や高齢者等の道路横断を支援するアプリ「信GO!」と連携する信号機設置の進め方は?**

県下で、令和6年3月末までに19箇所整備している。今後も、関係機関や道路利用者のご意見、ご要望を踏まえ適切に設置していく。



2月定例会より



2月定例会より

「中学校部活動の地域移行」について

勝野
教育長**県として、希望すれば誰でも入部できるような地域クラブ活動の仕組みを!**

生徒の活動環境が保障される地域クラブの創設が大切なので、新たな地域クラブの形態について、市町村や地域協議会等と情報共有し、知事部局との連携により、良い活動環境が整えられるよう地域移行の取組みを支援していく。



11月定例会より

「農業政策」について

勝野
農政部長**農産物の幅広い品目を対象とした生産から消費までの、各段階での適正な価格取引を推進する仕組みが必要と考えるが?**

生産コストが適切に反映された再生産可能な価格で取引されることが必要である一方、県が価格転嫁の仕組みを構築することは困難なことから、国に対して強く要望している。さらに、生産現場の姿の発信や適正な価格形成に向けた環境づくりを「しあわせバイ信州運動」としても取組んでいく。

県民文化・健康福祉委員会審議(12月・3月)

県民文化部への主な質問項目

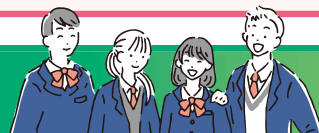
- ① ケアリーバー支援の取組み
- ② 「信州こどもカフェ」
- ③ 長野県外国人政策検討会議(仮称)設置事業
- ④ 沖縄県との若者交流事業
- ⑤ 「子ども子育て応援市町村交付金」の活用状況

健康福祉部への主な質問項目

- ① ガソリン緊急支援事業
- ② オンラインによる失業認定申請
- ③ 子ども等自殺対策強化事業
- ④ 重層的支援体制整備事業の状況
- ⑤ 障がい者工賃向上計画2024



こんにちは県議会です



学生との意見交換会

高校生と



令和6年12月、県内の高校生と意見交換。県の「奨学金返還支援サポート事業」の周知を要望されました。私から、「自転車運転時のヘルメット着用」についてもお聞きました。

大学生・短大生と

令和7年2月、応募で参加いただいた16人の大学生・短大生とオンラインで「若者の県外流出」等について意見交換。長野県への大学等の誘致について等ご要望が出されました。私から、一般質問や委員会において、この件の取組みを確認しました。



勝山ひでお 県政レポート

長野県議会議員

VOL.4
.....
2025 春号



現場第一! ひたむきに走る



2月定例会 一般質問

若者・単身者政策について

【勝山】若者・単身者向けの居場所の推進について、9月定例会で「市町村と連携しながら地域ごとのユースセンターの設置を促進したい」との答弁をいただいた。その後の連携状況と今後の予定を伺う。

【こども若者局長】県内のどこにどのような若者の居場所が設置されているか調査し、高校生の居場所づくりが各地域で進んでいることが分かった。昨年11月に「ユースセンターについて学ぼう」をテーマに高校生も参加して意見交換会を開催し、ユースセンター設置に向けた機運醸成を図った。市町村での設置を促進するために元気づくり支援金で補助率を上げる重点支援対象事業とし、市町村に今後の設置に向けた検討を依頼した。

「ユースセンターについて」
長野県のHPより→



初当選以来、毎定例会で一般質問に立たせていただいております。主な質問・答弁の趣旨は以下の通りです。

【勝山】9月定例会で、「若者・単身者の社会的つながりや出会いの場となる居場所づくり」や「メタバースを活用したコミュニケーション空間の提供」を提案した。来年度予算へどのように反映させていくか、今後の取組を伺う。

【こども若者局長】社会とつながることに困難を抱える若者への支援を充実したいと考え「子ども若者総合支援センター」を設置することにした。議員からの提案を参考にセンターでは、オンライン相談をメタバースで受け付けるほか、専門人材の増員など若者や単身者が相談しやすい環境の整備に今後も取り組む。



認知症政策の取組について

【勝山】認知症バリアフリー社会の実現に向けた機運醸成を目的として、企業・団体等による「認知症バリアフリー宣言」という取組があるが、県内で宣言をしている企業・団体等は少ない。「認知症バリアフリー宣言」の推進を積極的に行ってはいかがか。

【健康福祉部長】認知症の方にとって、生活のあらゆる場面での障壁を減らす「認知症バリアフリー」は重要な理念。労働局や県内経済団体と連携し、正しい理解促進とともに、宣言の理念の周知に取り組む。



一般質問の動画は右のQRコードよりご視聴いただけます。是非ご覧ください。



2月定例会

9月・11月定例会 産業観光 企業委員会 での質疑

価格転嫁について

【勝山】賃金が上がつつも、物価高騰に追いついていない事が課題。中小企業が更なる賃金アップを実現するため、価格転嫁の実施が重要だが、業種ごとに価格転嫁のしやすさに違いがある。例えば、運輸・倉庫の関係は価格転嫁できている企業は3割を下回っている。業種ごとの対策をどのように考えているか伺う。

【経営・創業支援課長】倉庫業も含めて、

業種ごとに課題があると思う。中小企業団体中央会等と連携を図り業種ごとに様々な支援をしたい。例えば今年度、価格転嫁サポートチームができたので、アウトリーチ型の支援をしていきたい。



宿泊税について

【勝山】宿泊税の導入にあたり、再来年度に会計システムの改修が必要になると思う。システム改修に関して、助成金などフォローが必要になると思うが、どのように考えているか？

【山岳高原観光課長】県民説明会、パブリックコメント、宿泊事業者の皆様からのご意見を踏まえながら、必要なシステム改修への対応を考えていきたい。

【勝山】納税者の方に目的・使途が分りやすいような工夫が必要だと思うが。

【山岳高原観光課長】目的・使途を分かりやすく伝えることが重要。ポスターやチラシなど、今後分かりやすく伝える方法を検討したい。

